

「核兵器・原発」を「算数頭」で考える

—地球市民の書棚から③1

地球市民 大村 昌宏



久ぶりに浜岡原発に立ち寄った。この日は、遠州のカラッ風が吹き荒れていた。原発周辺の風力発電所では、巨大な風車がシュールシュールと風切り音を響かせて回っていた。海岸に出ると砂浜が浸食され、テトラポットに白波が打ちつけていた。原発の施設周辺の白い壁は新たに作られた防波壁。巨大地震の震源域にある浜岡原発は「世界一危険な原発」と言われている。巨大地震が発生すれば直ちに強震と大津波がこの浜岡原発を襲う。万が一過酷事故を誘発すれば、放射性物質がこの強風によって東海道ベルト地帯を汚染することになる。数百万人の営みが奪われ、東名高速道路・東海道新幹線は分断される。汚染は遠く首都圏に及ぶ可能性がある。



2018/03/03 御前崎市白羽海岸にて